

サステナビリティ経営の推進

事業活動とSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、地球上の誰ひとりとして取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、17のゴール、169のターゲットを掲げており、その達成に向けて、世界各国の政府、企業および社会の自発的な取組みが求められています。

当社は「確かな安心を、いつまでも」という経営理念を掲げ、相互会社として長期に安定した経営と、お客さま一人ひとりの人生に寄り添うアフターフォローのご提供をめざしており、これらは持続可能な社会の実現を掲げるSDGsの理念と軌を一にするものであると考えています。

グループサステナビリティ方針

明治安田生命グループ(以下、グループ)で共有する考え方として、グループサステナビリティ方針を定めています。

本方針をふまえ、グループ一体となって社会を基盤として活動する企業としての責任を果たし、「お客さま」「地域社会」「働く仲間」をはじめとするステークホルダーとの共通価値を創造するとともに、その価値を「未来世代」に引き継ぐことを通じて、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献します。



グループサステナビリティ方針は当社ホームページに開示しています。

<https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/commitment/>



「優先課題(マテリアリティ)」の設定

SDGsにおける17のゴール、およびこれらに内包される169のターゲットから導き出される社会課題のうち、当社の「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」の観点から、15項目を「優先課題(マテリアリティ)」に設定し、その解決に貢献する取組みを推進しています。「特に注力する優先課題」とする「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」は、

「みんなの健活プロジェクト」「地元の元気プロジェクト」の2「大」プロジェクト等を通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます。また、「環境保全・気候変動への対応」を「さらなる取組みが必要な優先課題」と位置づけ、その取組みを強化しています。

2「大」プロジェクト等を通じ、引き続き注力

特に注力する優先課題

健康寿命の延伸



地方創生の推進



位置づけを引き上げ、取組みを強化

さらなる
取組みが必要な優先課題

環境保全・気候変動への対応



▶ 上記以外の優先課題

金融包摂 (金融アクセスの確保等)			イノベーション、 調査・研究・開発の推進		人権の尊重・推進		
こどもの健全育成、 伝統芸能・技術の継承			雇用機会の創出		ガバナンス強化と 経営の透明性確保		
健康・金融リテラシーの向上			ダイバーシティの推進		コンプライアンスの推進		
多様な保険商品・ サービスの提供			働き方改革の推進		防犯・防災対策の整備		